

富山新聞 25年3月4日(土)

氷見・仏生寺協が喜び 防災まちづくり長官賞



表彰を報告する役員
― 氷見市役所

消防庁の防災まちづくり大賞で消防庁長官賞を受賞した、氷見市の仏生寺地域づくり協議会の関係者が3日、市役所を訪れ、林正之市長に喜びを報告した。

屋敷宗一顧問によると、家族構成を登録した「いのちのバトン・避難支援シート台帳」作成率が全世帯の95%と高く、住民参加のカラーリング大会で炊き出し訓練をしていることなどが評価されたという。

仏生寺自治振興委員会の高木良治委員長は「コミュニティ活動と防災がかみ合った成果だ」と振り返り、仏生寺公民館の松下正市館長は「活動を継続させていきたい」と語った。

林市長は「高齢化が進む中で地域で支え合つことが大事」と活動に敬意を示した。

■消防庁長官賞を報告
氷見市 氷見市の仏生寺地域づくりに協議会は3日、地域に根差した防災活動を表彰する消防庁の「第27回防災まちづくり大賞」で同庁長官賞を受けたことを林市長に報告した。

協議会顧問の屋敷宗一さん（写真中央）が、仏生寺自治振興委員長の高木良治さん、松下正市仏生寺公民館長と共に市役所を訪問。ほぼ全世帯が緊急連絡先を記した避難支援シートを保管するほか、各集落の区長、民生委員、社会福祉協議会と情報共有していることを紹介した。県内で最も早く地区防災計画を作ったことも評価理由ではないかと説明した。



25年3月4日(土) 北日本新聞